
吾輩は犬である～ラジオ番組編～

優香

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

吾輩は犬である〜ラジオ番組編〜

【Nコード】

N3214Q

【作者名】

優香

【あらすじ】

ネットで生活していたパトラッシュ。

無事に冬を越えた彼に待ち受けていたものとは!?

タイトルが全て語っていますね。はい。

ネロとパトラッシュのキャラ崩壊にご注意ください。

(前書き)

シリーズ化しようかと思って。

吾輩は犬である

名はカルパッチョ・・・あ、間違えた、パトラッシュ

吾輩は飼い主のネロと一緒に大聖堂で眠りについた

なんか天使みたいな悪魔みたいな意味不明な奴らに連れて行かれた

だが天国まで行ったら

「天国は死んだ人間の住む場所だから。犬とか入れないから」とか言われて追い出された

それでアホな飼い主にも見捨てられこの冬ネットだけで生きてきたのだ

なんとか冬を越え、暖かい春になったと思ったら・・・

悲劇が起きた

「さあて、今回から始まりました！天国ラジオ新番組！『教えて！パトラッシュ！』！！」

これだ

まだ天国にいたのかネロ、さっさと地獄に逝けよ

「もおゝパトつてば冷たい。折角のラジオなんだから、ほら笑顔笑顔！」

「黙れ、あとラジオなら顔見えないだろ。死ね」

「そんなこと言って。僕たちもう死んでるんだから」

「お前の所為で死んでからも地獄を味わってたんだ俺は」

「あゝ、一人称が変わった。吾輩じゃないと！」

「ほつとけ。大体お前はいつも・・・「じゃ！番組の説明するよー！」話聞けや！」

「えーっと、この番組はタイトルどおり、パトラッシュにいろいろ聞く30分番組です！司会はパトラッシュの飼い主、ネロです！」

「それで30分やるのかよ・・・持つのか？」

「質問いっぱい来てるから大丈夫！じゃ、最初の質問ー！ペンネーム『俺は神』さんからの質問」

「大丈夫かお前」

「『ねえねえパトラッシュ、今日学校でドッジしてたんだけど私のチームボロ負けで。どうしてだろ?』だってー!」

「俺に聞く質問じゃねえ! 答えるとそれはお前のチームがクソだからだ!」

「酷いなー、パトは」

「酷いのはお前だ!」

「じゃ、次ー! ペンネーム『俺は水の精霊』さんからー!」

「中二病患者しかいないのかここのリスナーは」

「『ねえねえパトラッシュ! ねえねえ! なんでなんで!? ねえねえ! 教えて教えて!』」

「何をだよ!」

「あれー? これで終わり? つまんない。パトラッシュステッカーあげないぞー」

「なんだよパトラッシュステッカーって! 何作ってんだ!」

「次はふつおただね! ペンネーム『林檎丸かじり』さんから」

「ふつおたっばいな」

「『いつも応援しています。頑張ってください』・・・終わり?」

「・・・・・・・・」

「あ、追伸があるよー！『P S、この番組って何曜日の何時からや
ってるんですか？』日曜の夕方5時からだよー！聞いてねー！」

「お前絶対応援してないだろ！」

「そんなことないよー、誰かが動画サイトにアップしたかもしんない
じゃん。あつたら裁判するけど」

「これは第1回放送だ！そして裁判まで行くな！」

「いよっ！カルパッチョ！」

「誰だ今の！スタッフか！？何してんだお前ら！」

「次行くよー！」

「相変わらず進行重視だなお前は！」

「ペンネーム『体育館倉庫は俺の城』さんから」

「もうなんにもいわねえ・・・」

「『この前ガソリンスタンドの前を通りかかったらおっさんが全身
にガソリンぶっかけてただけだ。あれ何？』」

「知るか！燃える！」

「え？萌える？」

「いやよくねえよ！犯罪のにおいしかしねえよ！」

「さつきから我俣ばつかー！」

「我俣なのはお前だ！」

「次！ペンネーム『小学校の女教師』さんから」

「死んでたら教師もねーだろ・・・」

「『私クラスの男子が大好きで特に二人を可愛がってたら女子生徒たちが怒り始めて・・・最近のよくキレる若者ってこれですよね？』」

「悪いのはお前だが・・・まあ教師も大変だしな、ちょっとは癒しが欲しいよな」

「はい！そんな『小学校の女教師』さんにはお気に入りの男子の隠し撮り写真をプリントした抱き枕を差し上げます！」

「犯罪だろ！」

「渡しに行ったら喜んでたよ？」

「バカだなお前ら・・・」

「次ー！『教えておじいさん』」

「アルプスのジジイですがなにか・・・」

「『ねえパトラッシュ、どうして？ねえ。なんで今日はそんなに冷たいの？僕たちずっと仲良くやってきたじゃないか……』」

「誰だよお前！」

「というわけでこのお手紙は匿名希望のネロさんからでしたー！ステッカーあげるねー！」

「お前じゃねーか！ステッカー欲しいだけだろ！匿名希望なら読むな！」

「ここからは結構普通の質問だね、続けて行くよー！」

「聖堂で死んだ犬ですがなにか……」

「『普段の食事は？』」

「最近食えてねーんだよネロの所為で！」

「『好きな曲は？』」

「イヤホン！」

「……それは曲じゃないよ？」

「お前がそう言いながら走ってっただんだ！」

「『中二病の私を貰ってください』」

「だが断る！」

「『バスケのルール教えて！』」

「gggrks！」

「『ネットサーフィンだぜハイハイハイ！』」

「俺の真似か！？真似なのか！？」

「『パトンコスロットというものを見つけました』」

「どっかの飼い主が作った！」

「パトラッシュっていうパチンコあったよねー」↑どっかの飼い主

「伏字いいのか？」

「あと10分で終わりだねー、もうちょっと読んでごうか」

「この番組は打ち切りになりました！」

「また来週！」

「打ち切りだから来週やんねーよ！？」

一週間後

「大人気ラジオ！『教えて！パトラッシュ！』うー！第2回放送！司会は前回と同じく、ネロです！」

「・・・なんで・・・」

「なんかぁーパトがあー泣き出しちゃってえー。あは」

「あは じゃねえよ！先週で打ち切りになったはずだ！」

「そうそう、泉州のほうでだと打ち切りになっちゃってー」

「泉州！？そんなとこで放送されてたのかこれ！」

「あ、でもでも！天国だと毎週放送だから安心してね」

「安心できねーよ！」

「最初の質問いつくよー！」

「相変わらず進行重視だな！」

「ペンネーム『俺の封印された右手が疼くぜ・・・』さんから」

「緊急特番のため終了します！」

「一時間後に会おうねー！」

「一時間！？一時間だけなの！？」

「じゃあみなさん一緒にー！教えて！パトラッシュー！」

「誰ものってねえよ！」

教えて！パトラッシュー！は一時間後に放送いたします。またお越しください。

天国ももうやだ・・・ネットだけで生きてく・・・

（後書き）

実はこれ、半分は実話なのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3214q/>

吾輩は犬である～ラジオ番組編～

2011年10月7日19時33分発行